

## 日本痛風・尿酸核酸学会 会員の現状 2021年度

会員数 **554名** 男性会員 461名(83.2%) 女性会員 90名(16.2%) 企業会員 3名(0.5%)

資格 医師 366名(**66.1%**)

獣医師 2名、薬剤師 43名、栄養士・管理栄養士 9名、看護師 4名、臨床検査技師 7名、理学療法士 1名、  
介護福祉士 1名 (**12.1%**)

その他・資格なし 124名(**22.4%**)

理事 17名 男性理事 15名(88.2%) 女性理事 2名(**11.8%**)

評議員 48名 男性評議員 44名(91.7%) 女性評議員 4名(**8.3%**) 女性評議員が少ない

年齢構成 **60歳以上の女性会員が少ない**

|       |             |    |             |    |                     |      |             |
|-------|-------------|----|-------------|----|---------------------|------|-------------|
| 20歳代  | 11名(2.0%)   | 男性 | 6名(1.3%)    | 女性 | 5名(5.6%)            | 女性比率 | 45.5%       |
| 30歳代  | 55名(10.0%)  | 男性 | 40名(8.7%)   | 女性 | 15名(16.7%)          |      | 27.3%       |
| 40歳代  | 94名(17.1%)  | 男性 | 66名(14.3%)  | 女性 | 28名(31.1%)          |      | 29.8%       |
| 50歳代  | 167名(30.3%) | 男性 | 140名(30.4%) | 女性 | <b>27名(30.0%)</b>   |      | 16.2%       |
| 60歳代  | 136名(24.7%) | 男性 | 125名(27.1%) | 女性 | 11名( <b>12.2%</b> ) |      | <b>8.1%</b> |
| 70歳以上 | 69名(12.5%)  | 男性 | 67名(14.5%)  | 女性 | 2名( <b>2.2%</b> )   |      | <b>2.2%</b> |
| 未記入   | 19名(4.0%)   | 男性 | 17名(3.7%)   | 女性 | 2名(2.2%)            |      | 10.5%       |

## ダイバーシティ推進委アンケート結果 会費請求に同封。5.31メ切

回答数 100名(会員の18.1%) 男性 83名(83%) 女性 16名(16%) 未記入 1名

資格 医師 84名(84%)

薬剤師 5名、管理栄養士 2名、看護師 2名、臨床検査技師 1名、研究者 12名、会社員 1名 (23%)

アンケート回答の女性比率は会員数とほぼ同じ

年齢構成 女性では40歳代の回答が多い

|       |          |    |            |    |           |      |       |
|-------|----------|----|------------|----|-----------|------|-------|
| 20歳代  | 1名(1%)   | 男性 | 1名(1.2%)   | 女性 | 0名(0.0%)  | 女性比率 | 0.0%  |
| 30歳代  | 5名(5%)   | 男性 | 4名(6.0%)   | 女性 | 1名(6.3%)  |      | 20.0% |
| 40歳代  | 15名(15%) | 男性 | 7名(18.1%)  | 女性 | 8名(50.0%) |      | 53.3% |
| 50歳代  | 31名(31%) | 男性 | 27名(37.3%) | 女性 | 4名(25.0%) |      | 12.9% |
| 60歳代  | 32名(32%) | 男性 | 30名(38.6%) | 女性 | 2名(12.5%) |      | 6.3%  |
| 70歳以上 | 16名(16%) | 男性 | 14名(19.3%) | 女性 | 2名(12.5%) |      | 12.5% |

54回総会に参加 69名 (54回参加会員の42.6%:54回参加者は会員162名 (全会員の29.4%)、非会員187名)

55回も参加したい 66名 (全会員の28.1%相当)

55回も参加したいが継続が難しい 3名 (全会員の1.2%相当)

55回は参加したくない 0名

54回総会に参加しなかった 31名 (54回不参加会員 (389名) の8.0%)

55回は参加したい 20名 (全会員の45.4%相当)

55回は参加したいが継続が難しい 10名 (全会員の22.7%相当)

55回は参加したくない 1名 (全会員の2.3%相当)

全会員の73.5%は55回総会に参加したいと思い、23.9%は継続参加が難しいと感じている？

(3) (2)で、参加したい、と回答した方にお尋ねします。

どのような学会形式を希望しますか？

以前と同様のオンサイト開催 (同じ会場に集合する形式)

オンライン開催

ハイブリッド形式

どの形式でもよい

約半数がハイブリッド形式を希望

開催形式

オンサイト 17.6%

オンライン 19.1%

ハイブリッド 48.7%

どれでも良い 12.3%

54回参加会員

15名 (全会員の6.3%相当)

13名 (全会員の5.5%相当)

29名 (全会員の12.4%相当)

13名 (全会員の5.5%相当)

54回不参加会員

5名 (全会員の11.3%相当)

6名 (全会員の13.6%相当)

16名 (全会員の36.3%相当)

3名 (全会員の6.8%相当)

未回答 3名



参加したい会員 6名

54回参加会員 2名 (0.8%相当)

ハイブリット形式 職場を離れられない、コロナ感染リスク  
オンライン開催 自宅を離れられない

オンライン活用  
休日にする、オンライン活用  
託児所を設置、補助を行う

医師 男性 40歳台  
看護師 女性 40歳台

54回不参加会員 4名 (9.1%相当)

ハイブリット形式 急患で入金したのに視られず  
ハイブリット形式 職場を離れられない  
オンライン開催 職場を離れられない  
オンサイト開催 職場を離れられない

オンラインを活用  
オンラインを活用  
オンラインを活用  
休日にする

医師 男性 50歳台  
医師 男性 60歳台  
医師 男性 60歳台  
医師 男性 70歳以上

オンライン活用は積極的に行う課題と思われる。

託児所の設置は3人の回答があり、会員全体では7.0人、非会員を含めると15.2人のニーズが発生するか。  
30歳代男性のニーズがあることを考えると、今後重要性は増す可能性。